
健康・医療クラウドWG

ミドルウェアSWG・インフラSWG 会議資料

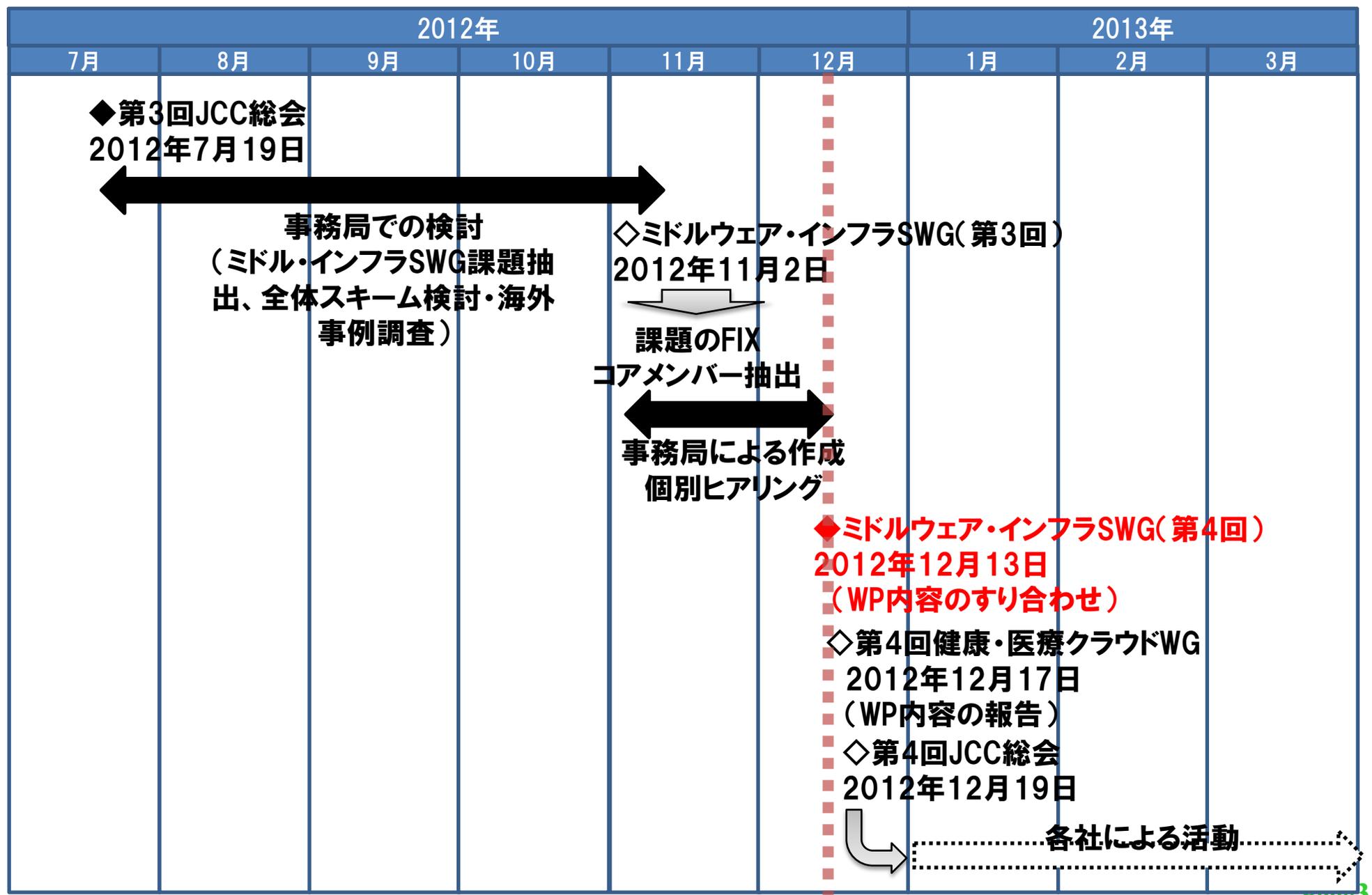
2012年12月13日(木)

KDDI株式会社

本日のアジェンダ

1. ホワイトペーパーの目次構成【20分】
2. 「課題の方向性」についての説明【10分】
3. ディスカッション【60分】
4. まとめ【10分】

今までの経緯と今後について



1. ホワイトペーパーの目次構成

1-1. 目次構成

以下の通り、4章までは健康・医療領域における「サービス提供基盤」についての事実を客観的に述べ、5章にてジャパン・クラウド・コンソーシアムとして意見を提言するという章構成としております。

第1章 はじめに

第2章 サービス提供基盤における課題

第3章 日本の医療情報システムにおける動向

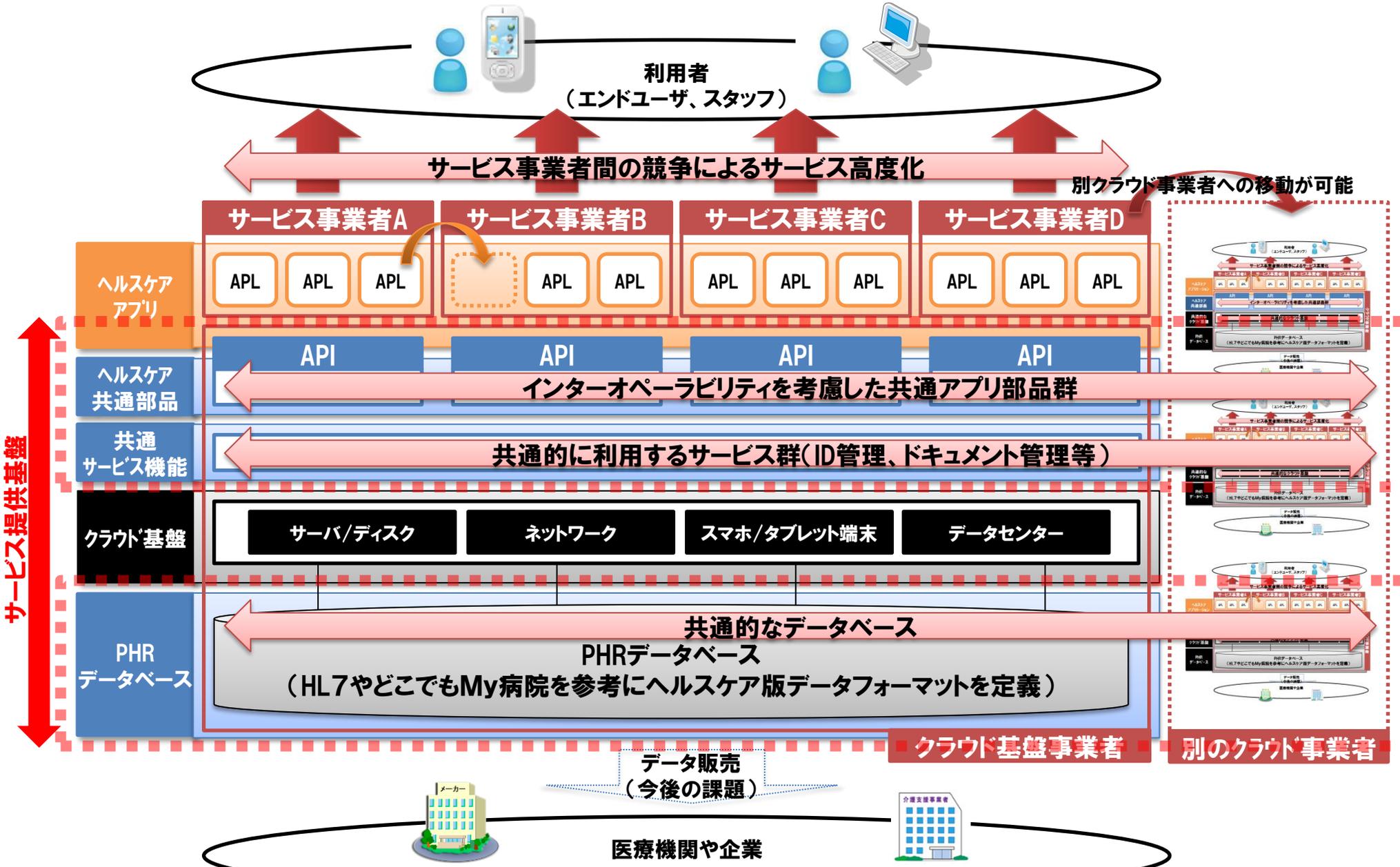
第4章 海外の医療情報システムにおける動向

第5章 課題に対する方向性(案)

第6章 おわりに(謝辞)

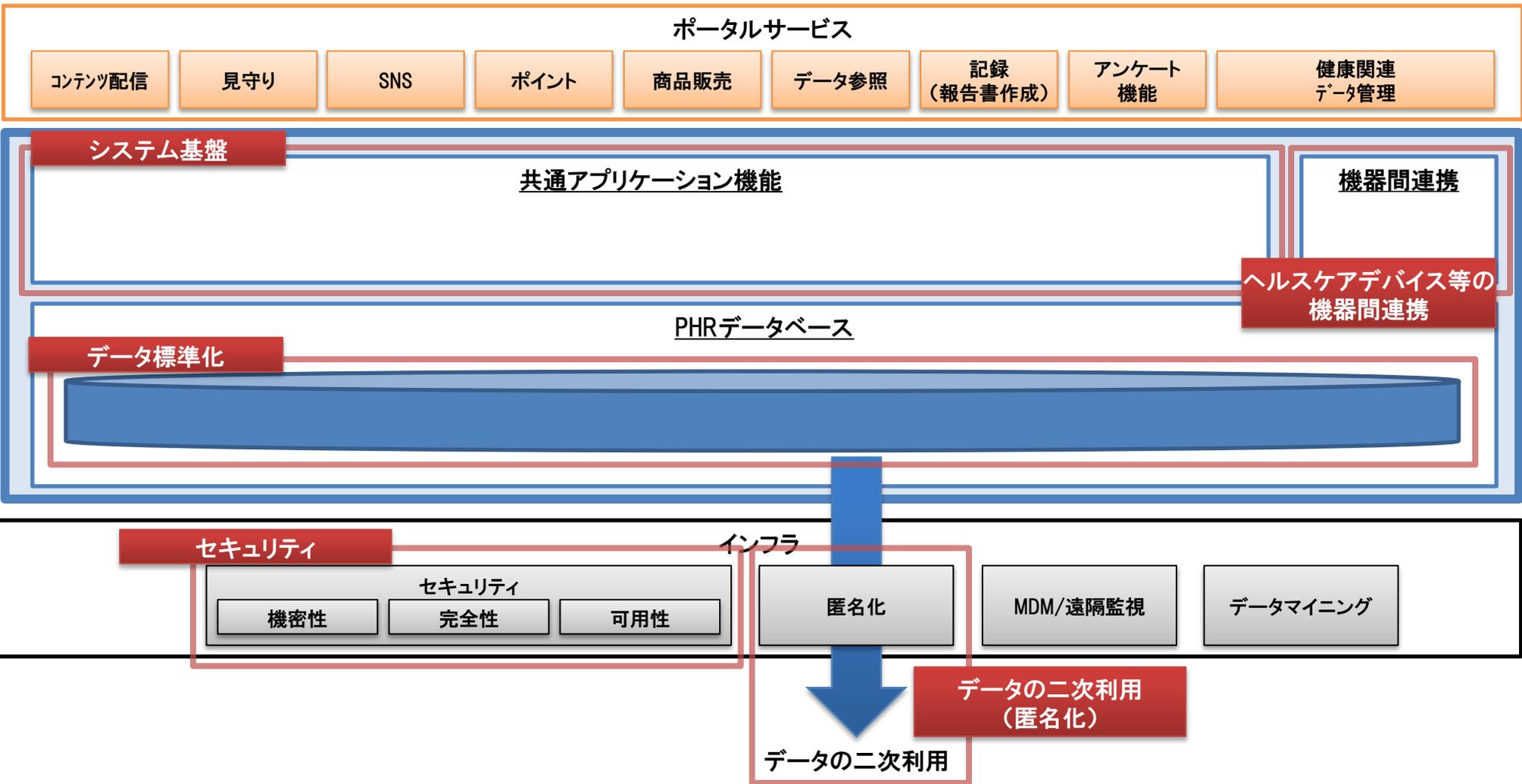
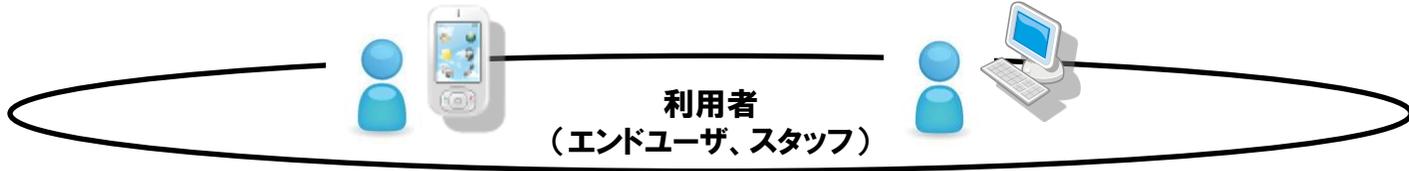
2. サービス提供基盤における課題

2-1. 「サービス提供基盤」の定義



2. サービス提供基盤における課題

2-2. 課題事項



3. 日本の医療情報システムにおける動向

日本における医療情報システムの現状を以下の構成で整理。

3-1 日本政府の動き

3-2 標準化の概要

3-3 データ標準化

- ・厚生労働省標準規格

- ・医療情報標準化推進協議会(HELICS協議会)

- ・HL7

- ・SS-MIX

3-4 IHE

3-5 健康機器情報連携

3-6 セキュリティ

- ・ガイドライン

- ・セキュリティ

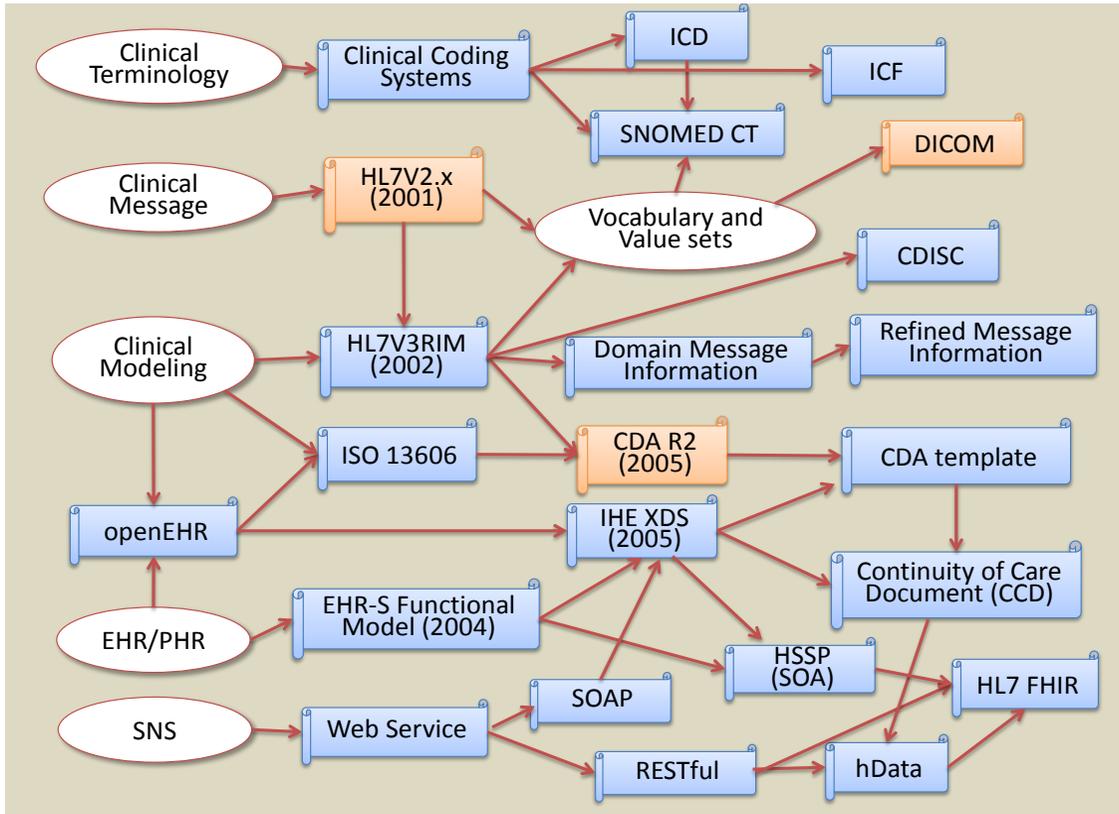
- ・データの2次利用匿名化

3-7 マイナンバー法

4. 海外の医療情報システムにおける動向

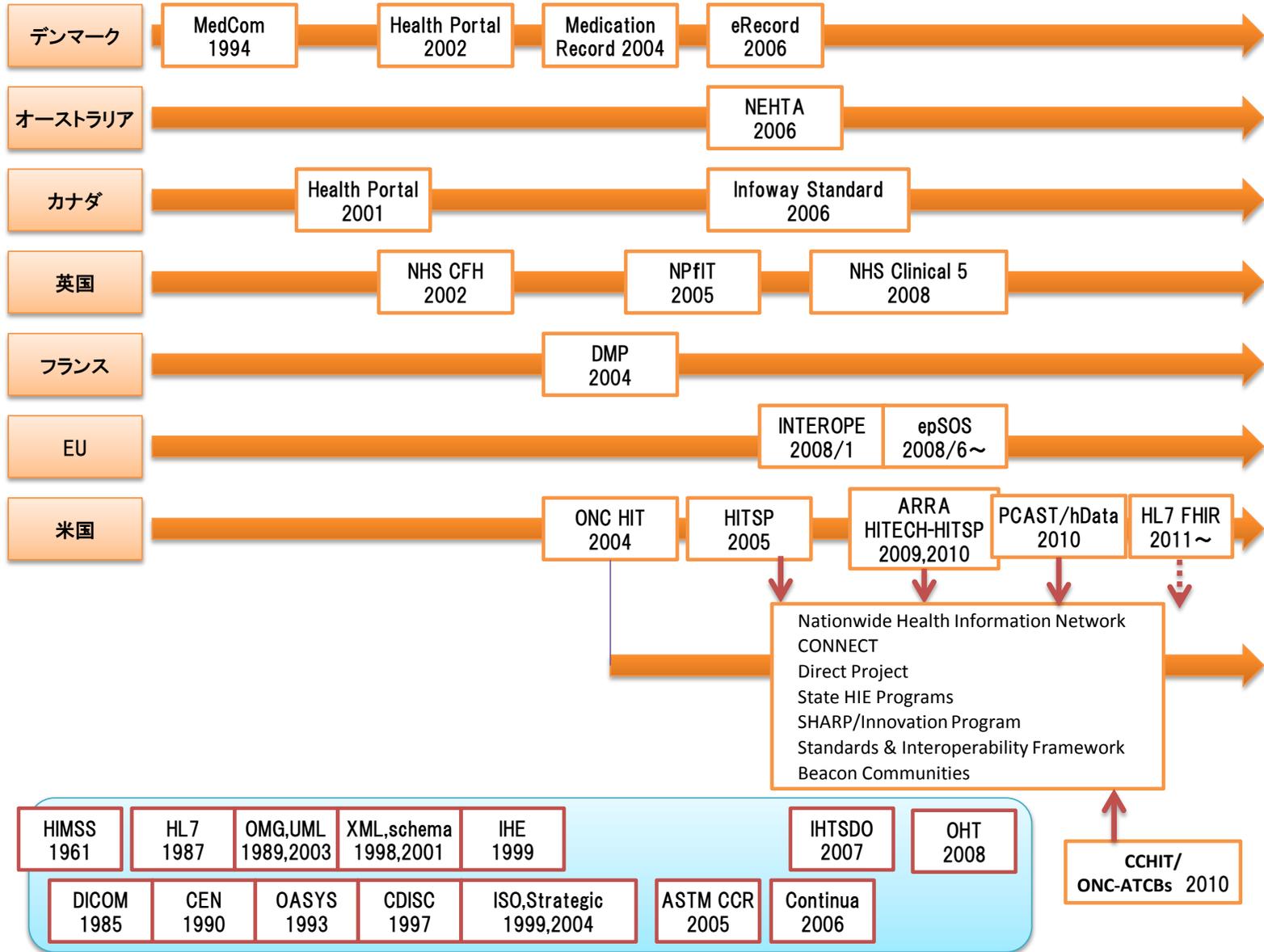
4-1. 医療ITの標準化マップ

- 医療用語: ICD, SNOMEDなど
- 語彙及び値セット: SNOMEDなど
- メッセージ: HL7V2.xなど
- モデリング: HL7V3RIM, ISO13606, openEHR, CDA R2など
- EHR/PHR: openHER, EHR-S Functional Modelなど
- SNS: Web Service, SOAP, RESTful, HL7FHIRなど



4. 海外の医療情報システムにおける動向

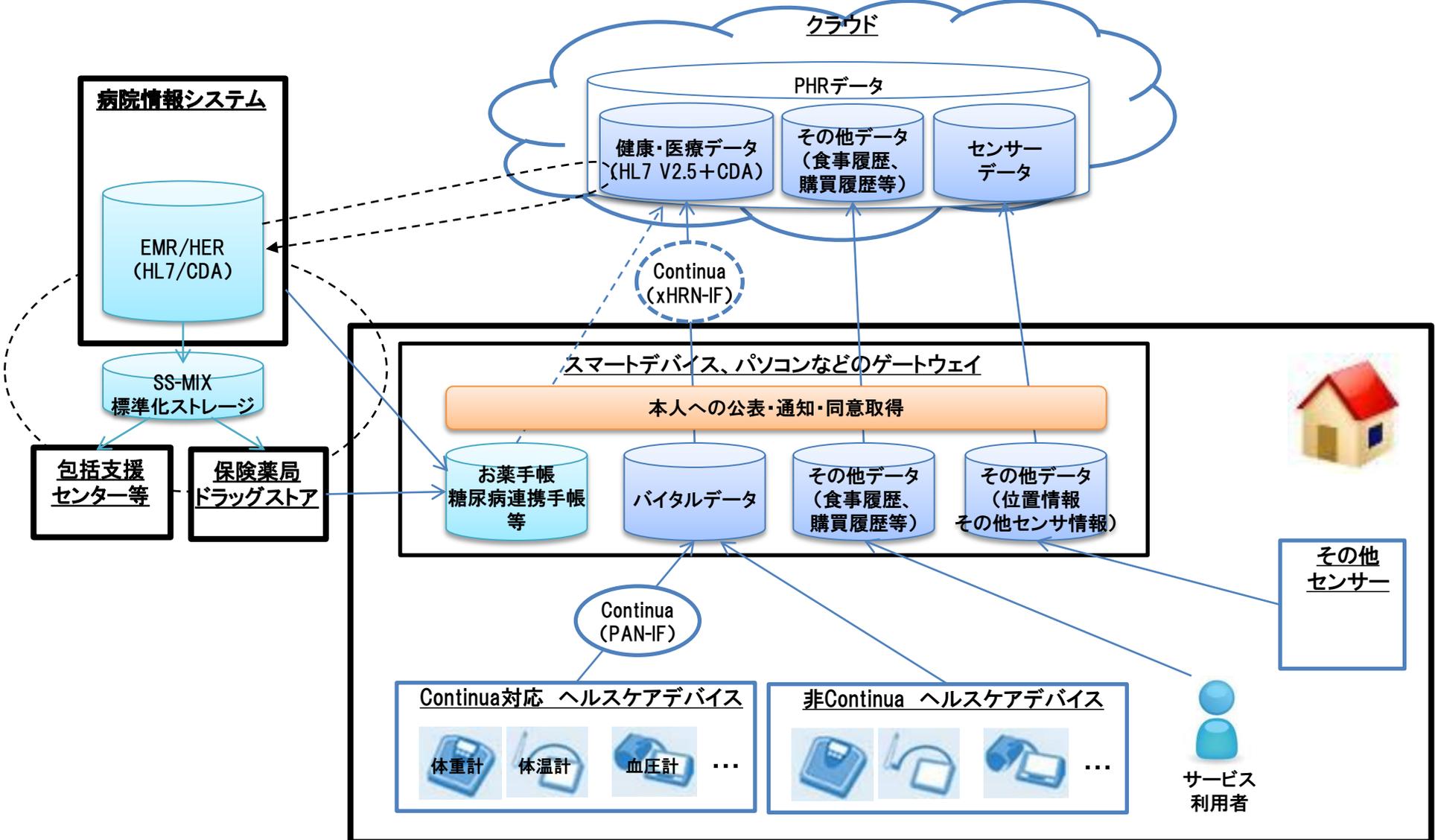
4-2. 世界の医療IT導入経緯及び現状



5. 課題に対する方向性

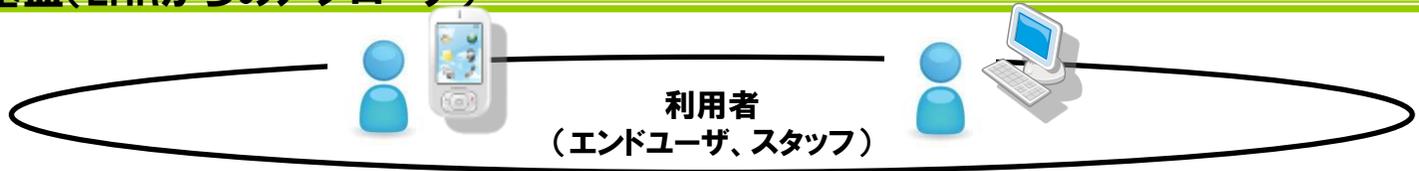
5-1. システム基盤(PHRからのアプローチ)

データの2次利用を考慮すると健康・医療データについてはHL7 V2.5 + CDAとし、その他のデータは標準化までは行わない。

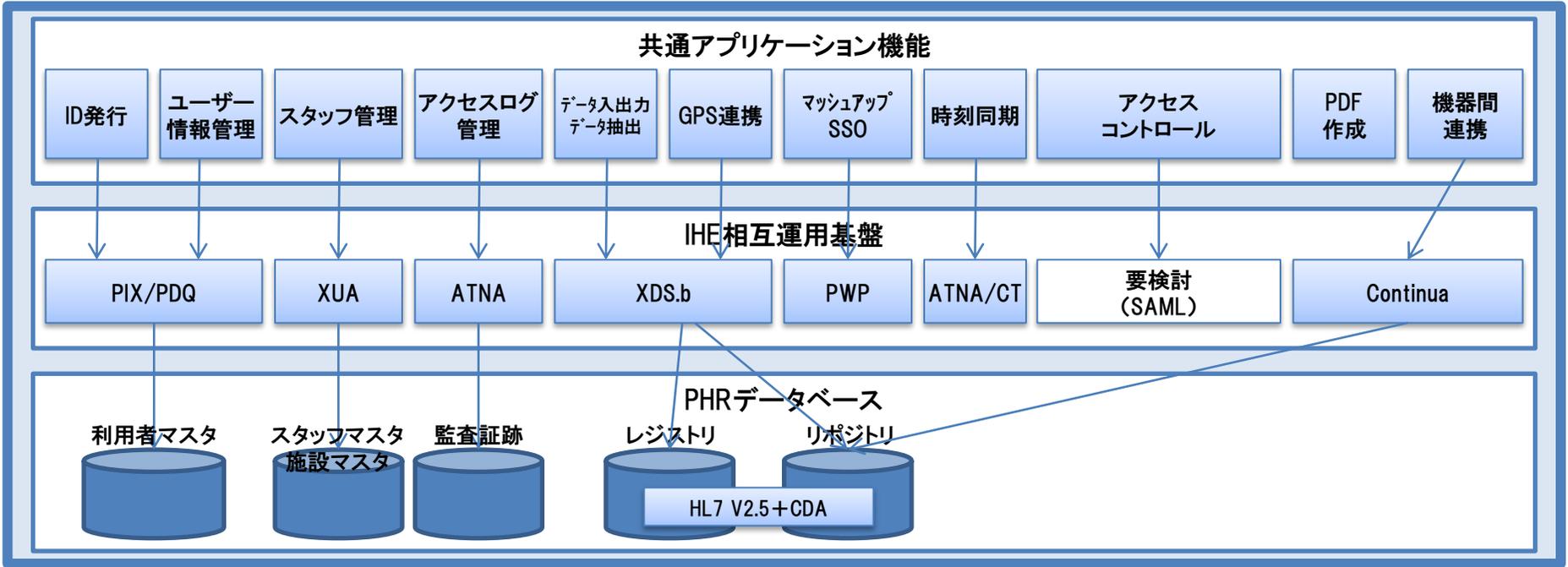


5. 課題に対する方向性

5-1. システム基盤(EHRからのアプローチ)



RESTful



5. 課題に対する方向性

5-2. データの二次利用(匿名化)

- ・完全な匿名化処理を行い、個人情報保護法の対象から外すことは困難である。
- ・よって個人情報保護法への抵触リスクを考えると、データの二次利用をするためには本人への同意が必要となる。
- ・なお本人への同意を行っても、プライバシー侵害などの民法のリスクは残っていることから、完全なリスク回避は困難な状況である。



現状では、データ二次利用を行う場合には、本人への同意は必須な状況
(企業への負担が大きいという状況)



**匿名性の基準・ガイドラインを、国や第三者機関として早期に
策定が必要ではないか**